

第31回

日本社会福祉士会全国大会

社会福祉士学会 **大分大会**

大会テーマ

現実社会と向き合うソーシャルワーク
—「たがいに・ささえあい・つながり」を目指して—

2023年 7/1・2日
[令和5年]

会場

別府国際コンベンションセンター〈ビーコンプラザ〉

〒874-0828大分県別府市山の手町12-1



[主催] 公益社団法人 日本社会福祉士会・公益社団法人 大分県社会福祉士会

第31回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会大分大会

開催要綱・目次

1. 日本社会福祉士会全国大会の開催にあたって	2
公益社団法人日本社会福祉士会 会長 西島 善久	
2. 現実社会と向き合う	3
公益社団法人大分県社会福祉士会 会長 白田 晃久	
3. 現実社会と向き合うソーシャルワーク ～「たがいに・ささえあい・つながり」を目指して～	4
公益社団法人大分県社会福祉士会 副会長 伊藤 保幸 (第31回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会大分大会 実行委員長)	
4. 第31回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（大分大会）開催要綱	7
5. プログラム	9
6. 講師・シンポジスト紹介	10
7. 第31回社会福祉士学会	13
8. 全国大会プレ企画『実践研究入門講座』 開催要項	17
9. お申し込みのご案内（宿泊・お弁当・大会参加）	18

日本社会福祉士会全国大会の開催にあたって



公益社団法人日本社会福祉士会
会長 西島善久

第31回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会大分大会が大分県別府市「別府ビーコンプラザ」を会場として、当日参集と後日のオンデマンド配信で開催されます。

公益社団法人大分県社会福祉士会の皆さまにおかれましては、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、全国の会員が集い・学ぶ機会である本大会の開催に向け、実行委員会を中心として、着実に準備を進めていただいておりますことに厚くお礼を申し上げます。

また、ソーシャルワーク専門職団体の連携強化・統合に向けた取り組みのひとつとして、日本精神保健福祉士協会、日本医療ソーシャルワーカー協会、日本ソーシャルワーカー協会の皆さまにも本大会をご案内させていただいており、全国からソーシャルワーカーの皆さまにご参加いただけることを心待ちにしております。

令和2年6月に社会福祉法が改正され、重層的支援体制整備事業が創設されました。本事業は、市町村全体で地域住民に対する重層的なセーフティネットの強化を目指すものであり、その取り組みが全国各地で始まっています。コロナ禍が長引く中、社会的孤立をはじめとした生きる上での困難や生きづらさ、「8050」やダブルケアなど個人・世帯が抱える課題が深刻化しており、ソーシャルワーク専門職である「社会福祉士」がその解決に向け、役割を果たしていくことが期待されています。

さて、大分大会のテーマは、『現実社会と向き合うソーシャルワーク―「たがいに・ささえあい・つながり」を目指して―』です。

新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちは対面や移動に多くの制限を経験し、多様な空間でのつながりを生み出しました。コロナ禍が変えた「つながり」を再認識し、私たちソーシャルワーカーが、「たがいに・ささえあい・つながり」を目指して、どのように取り組んでいくのか、ともに学び考え、実践に繋げていくというメッセージが込められています。

本大会において、講演やシンポジウムを始め、全国から多くの実践事例や実践研究が報告・発表されます。目の前のクライアント一人ひとりの個人の尊厳を護り、多様性が尊重されながら人々の「つながり」を実感できる社会への変革と社会的包摂の実現を目指した実践が共有されることを期待するとともに、本大会を通してソーシャルワーカー同士の連携を強め、私たちの役割を確認できれば幸いです。

現実社会と向き合う



公益社団法人大分県社会福祉士会
会長 白田 晃久

われわれが生活する現実社会では今何が起きているのか。その現実社会で起きている出来事にわれわれソーシャルワーカーは真摯に向き合ってきたのか。

国は、これまで団塊の世代が後期高齢者になる2025年問題の課題の対応を工程表などで示し、社会福祉をはじめとした社会保障の施策などが様々に示されました。近年は、いわゆる団塊の世代ジュニアが前期高齢者となる2040年問題がクローズアップされています。

2040年には、現代社会とは大きく相違する社会が想定されており、福祉施策も現在とは少し違った仕組みづくりが工夫されているかもしれません。

現在、地域では少子高齢化の進展の中で、孤独死やごみ屋敷、社会的孤立、引きこもり、8050問題、DV、高齢者や障がい者、児童への虐待問題、貧困など、福祉を取り巻く諸課題は複雑化の一途をたどり、それらの支援には高い専門性が求められるケースが増加しています。

そのようななかで、われわれ専門職が「地域共生社会」の実現を展望するのであれば、福祉施策だけではなく、保健・医療などの対人支援領域全般にわたる連携を必要とし、地域社会の持続を図るという点では、地方創世、まちづくり、住宅施策、地方自治、環境保全、教育など他の多様な政策領域との協調が不可欠となることは、これまでの国の報告書の中でも明らかになっており、ここに関わるわれわれ専門職としてのソーシャルワーカーへの社会的期待は高く、果たすべき責任も大きくなっています。

本大会のテーマは、現実社会と向き合うソーシャルワーク－「たがいに・ささえあい・つながり」を目指して－とし、どのような時代にあっても私たちソーシャルワーカーはこれまでも、そしてこれからも現実社会とひた向きに向き合いながらソーシャルワークを展開していかなければならない。そのような思いが込められています。

最後に、本会が設立30周年という記念すべき年に、多くの関係者のご参加を得て全国大会を開催できることと、これからの30年を考えるきっかけを頂けたことにも重ねて感謝申し上げますとともに、皆さまと「豊の国」である「おんせん県おおいた」の地でお会いでき、語り合える日を楽しみにしています。本大会を通して多くを学び有意義であったことを感じ取っていただけたら幸いです。

本大会へのご参加を大分県会員一同お待ち申し上げます。

現実社会と向き合うソーシャルワーク ～「たがいに・ささえあい・つながり」を目指して～



公益社団法人大分県社会福祉士会 副会長
第31回日本社会福祉士会全国大会
社会福祉士学会大分大会 実行委員長
伊藤保幸

第31回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（大分大会）の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

1993年9月に任意団体としてスタートを切った大分県社会福祉士会は「社会福祉の援助を必要とする大分県民の生活と権利を擁護」し、社会福祉の増進に寄与することを目的に活動を積み重ねてきました。2007年8月には社団法人、2013年4月1日からは公益社団法人として出発しました。私たちは「社会福祉に関する知識及び技術の県民への普及・啓発を行うとともに、社会福祉事業に携わる専門職員に対する技能の研鑽を行う事で、地域福祉サービスの推進と発展を図り、もって大分県民の社会福祉の向上に寄与すること」を目的に日々それぞれのフィールドで切磋琢磨しております。

2019年に始まった新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、それまで私たちが経験したことのない禍であり、人と人との対面やその場に集合するという事を難しくしました。これは人間が本来もつ社会的な「つながり」や、一人で過ごす空間の在り方にも変化をもたらしました。コロナ禍は、私たちの「つながり」に対する意識をも変え、社会に内在していた孤独・孤立の問題を顕在化し、更には深刻化をもたらしました。

しかし、一方で多様化した空間でのつながりを生み出しました。

「転禍為福」地域のつながりや人間関係の希薄化、そして、孤立・孤独などの社会問題に対して、われわれソーシャルワーカーは、たがいに・ささえあい・人と人との「つながり」が生まれる社会の構築のためにどのように向き合っていけばよいのか是非この大分大会でみなさまと一緒に学び考えましょう。

今回は大分県別府市にお集まりいただき、盛大に全国大会を開催し、全国各地のソーシャルワーク実践活動を学び現場実践に還元できればと考えます。加えて後日オンデマンド配信を行います。当日現地にお見えにならない方へもその臨場感をお伝えしたいと思います。

最後に、2023年は大分県社会福祉士会が発足して30年目の節目にもなる年です。その節目の年に大分県で全国大会を開催できることは大変嬉しく思います。みなさま、是非大分で「たがいに・ささえあい・つながり」について語り合いましょう。

2023年3月1日

(所属長)

様

公益社団法人日本社会福祉士会
会長 西島善久
(公印省略)

第31回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（大分大会）の
開催について（お願い）

拝啓 早春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、本会事業の推進につきましては、平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。おかげをもちまして、都道府県社会福祉士会に所属する会員数も約45,000人を超え、全国47の都道府県社会福祉士会を通じて活動も順調に発展を続けております。

さて、本年も厚生労働省、大分県、大分市、全国社会福祉協議会等のご後援をいただき、下記のとおり7月1日（土）から2日（日）にかけて、第31回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（大分大会）を大分県別府市にある、別府国際コンベンションセンター（ビーコンプラザ）にて開催いたします。

本大会は、『現実社会と向き合うソーシャルワーク「たがいに・ささえあい・つながり」を目指して』をテーマとして掲げ、社会福祉士の役割と可能性について研鑽を深める機会とする予定です。業務多忙の折、誠に恐縮に存じますが、貴下職員である社会福祉士の全国大会への出席について、特段のご配慮を賜りたくお願い申し上げます。

なお、プログラム等の詳細につきましては、都道府県社会福祉士会会員を通じてお目通しいただければ幸いです。

末筆ながら、貴職の一層のご清祥をお祈り申し上げます。

敬具

記

1. 日時 2023年7月1日（土）～2日（日）
2. 場所 別府国際コンベンションセンター（ビーコンプラザ）
※当日参集と後日のオンデマンド配信
3. 名称 第31回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（大分大会）
4. 参加者 都道府県社会福祉士会会員および社会福祉関係者
5. 後援 厚生労働省、大分県、大分市、全国社会福祉協議会、他（予定）

2023年3月1日

都道府県社会福祉士会会員 各位

公益社団法人日本社会福祉士会
会長 西島善久
(公印省略)

第31回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（大分大会）の
開催について（ご案内）

拝啓 早春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、本会事業の推進につきましては、平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年7月1日（土）から2日（日）にかけて、第31回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（大分大会）を大分県別府市にある別府国際コンベンションセンター（ビーコンプラザ）にて開催することといたしました。詳細は、別添「開催要綱」のとおりです。

本大会は、『現実社会と向き合うソーシャルワーク「たがいに・ささえあい・つながり」を目指して』をテーマに開催いたします。参加者一人ひとりがこの大会テーマに基づき実践課題を見出し、自己研鑽を深める機会としてご活用いただければ幸いです。

都道府県社会福祉士会に所属する会員数も約45,000人となり、全国各地において社会福祉推進の一翼を担い、各都道府県社会福祉士会の活動もますます充実してきています。今後も皆さまとともに、活動の更なる充実に向けて邁進してまいりたく、是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。

末筆ながら、皆さまの一層のご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

開催要綱

1. 大会テーマ

現実社会と向き合うソーシャルワーク

— 「たがいに・ささえあい・つながり」を目指して —

2. 大会趣旨

新型コロナウイルスの感染拡大は多様化した空間でのつながりを生みだしました。一方で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置のもと、人と人との対面や移動を避ける生活様式は、人間が本来もつ社会的な「つながり」や、一人で過ごす空間の在り方にも変化をもたらしています。コロナ禍は、私たちの「つながり」に対する意識をも変え、社会に内在していた孤独・孤立の問題を顕在化し、さらには深刻化をもたらしました。

地域のつながりや人間関係の希薄化、そして孤立・孤独などの社会問題に対して、われわれソーシャルワーカーは、たがいにささえあい、人と人との「つながり」が生まれる社会の構築の為にどのように向きあっていかなければならないのでしょうか。その取組みをみなさまとともに学び考え、明日からのソーシャルワーク実践へとつなげていただきたいと思います。

3. 会 期 2023年7月1日（土）～7月2日（日）

4. 会 場 別府国際コンベンションセンター（別府市山の手町12-1）
※当日参集と後日のオンデマンド配信

5. 主 催 公益社団法人日本社会福祉士会 公益社団法人大分県社会福祉士会

6. 参加定員 1,000名（参集+事後配信）
※参加申込みの方は参集される方も後日オンデマンド配信にて本大会のすべてのプログラムを視聴できます。

7. 参加対象者および参加費

- ・都道府県社会福祉士会の会員……………10,000円
- ・日本精神保健福祉士協会の会員、
日本医療ソーシャルワーカー協会の会員、
日本ソーシャルワーカー協会の会員……………10,000円
- ・一般参加希望者……………11,000円
- ・学生……………5,000円

8. 懇 親 会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、今大会では開催いたしません。

9. 申 込 先

名鉄観光サービス（株）大分支店

〒870-0035 大分県大分市中央町1-1-5

T E L : 097-534-7607 F A X : 097-536-7390

営業時間：9：30～12：00 13：00～17：00（土・日・祝祭日休業）

E-mail：hiroiyuki.nishimura@mwt.co.jp

10. 問 合 せ 先

公益社団法人 大分県社会福祉士会

〒870-0907 大分市大津町2-1-41 大分県総合社会福祉会館2F

T E L / F A X 097-576-7071

Mail oita-jacsw@axel.ocn.ne.jp

自然大災害が発生した場合の対応

- 新型コロナウイルス感染症の感染状況や行政機関からの開催制限の要請によっては、参集の開催形式ではなく、全面的にオンデマンド形式での開催に変更となる場合があります。
- 自然大災害等が発生し大会の開催に影響を及ぼす場合は、日本社会福祉士会および大分県社会福祉士会、学会運営委員会の三者が合議し、対応を検討します。決定された対応については速やかに大分県社会福祉士会ホームページ、日本社会福祉士会のホームページにおいて周知いたします。
- なお、自然大災害等により大分大会開催を中止した場合、一旦納入された参加費等は返金できない場合があります。その場合も大会抄録集は送付いたします。

【後援】（順不同・法人種類省略）

厚生労働省、福祉医療機構、全国社会福祉協議会、中央福祉学院、社会福祉振興・試験センター、日本ソーシャルワーク教育学校連盟、日本精神保健福祉士協会、日本ソーシャルワーカー協会、日本医療ソーシャルワーカー協会、日本介護福祉士会、日本相談支援専門員協会、日本介護支援専門員協会、福祉新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞東京本社、大分県、別府市、大分県社会福祉協議会、別府市社会福祉協議会、大分県社会福祉事業団、大分県精神保健福祉士協会、大分県医療ソーシャルワーカー協会、大分県介護福祉士会、大分県弁護士会、大分県司法書士会、成年後見センター・リーガルサポート大分支部、南九州税理士会大分県連合会、大分県行政書士会、大分県医師会、大分県歯科医師会、大分県薬剤師会、大分県看護協会、大分県理学療法士協会、大分県作業療法協会、大分県言語聴覚士協会、大分県栄養士会、大分県歯科衛生士会、大分県公認心理師協会、大分県介護支援専門員協会、おおいたボランティア・NPOセンター、大分県病院協会、大分県老人保健施設協会、大分県社会福祉法人経営者協議会、大分県児童養護施設協議会、大分県知的障害者施設協議会、大分県身体障害児者施設協議会、大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会、大分県就労支援事業所協議会、大分県老人福祉施設協議会、大分県手をつなぐ育成会、大分県肢体不自由児者父母の会連合会、大分県精神保健福祉会、認知症の人と家族の会大分県支部、日本てんかん協会大分県支部、国立大学法人大分大学、別府大学、日本文理大学、智泉福祉製菓専門学校、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分

プログラム

第1日目 7月1日(土)

9:15~11:45	全国大会プレ企画 「実践研究入門講座」
12:30~13:00	開会式 歓迎の言葉 主催者挨拶 来賓挨拶・紹介
13:00~13:45	〈行政講演〉 社会福祉士への期待(仮題) 講師:厚生労働省社会・援護局
13:45~15:15	〈基調講演〉 地域共生社会の実現を見据えた地域社会や人々のつながりの変化について 孤独・孤立問題の背景にあるもの 講師:石田 光規 氏 (早稲田大学 文学学術院 文化構想学部 教授)
15:15~15:30	休 憩
15:30~17:00	〈シンポジウム〉 「たがいに・ささえあい・つながり」の先にあるもの シンポジスト 後藤 みか 氏(大分県教育委員会SSWスーパーバイザー) 吉田 瑞穂 氏(中津市社会福祉協議会 地域福祉課 課長) 山下 達夫 氏(社会福祉法人 太陽の家 理事長) 鶴成 悦久 氏(大分大学減災・復興デザイン教育研究センター長) コーディネーター 石田 光規 氏(早稲田大学 文学学術院 文化構想学部 教授)
17:00~17:10	翌日のインフォメーション 1日目終了

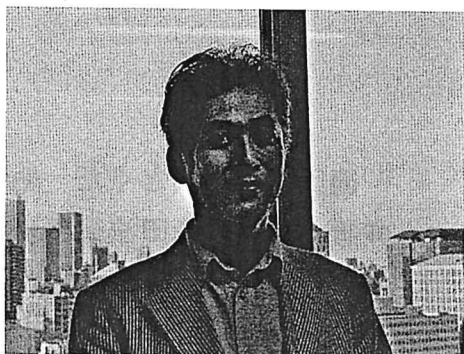
第2日目 7月2日(日)

9:30~12:30	社会福祉士学会〈分科会・開催県特別分科会・ポスター発表〉
12:30~13:30	休 憩
13:30~15:00	〈記念講演〉 救済の客体から参加する主体へ -障がいの社会モデルから何を学ぶべきか- 講師:徳田 靖之 氏(弁護士法人 徳田法律事務所 所長)
15:00~15:20	閉会式・次開催県引継ぎ式

※1・2日目の各プログラムは変更となる場合がございます。

〈基調講演〉

講師・コーディネーターの紹介



石田 光規 (いしだ みつのり)
早稲田大学文学学術院 教授

神奈川県生まれ。東京都立大学大学院社会科学研究所単位取得退学。博士（社会学）。大妻女子大学専任講師、准教授、早稲田大学文学学術院准教授を経て2016年より現職。孤立やつながりづくり、友だち関係など、現代社会の人間関係に焦点をあてて幅広く研究をしている。

多摩市『地域包括支援センター運営協議会』会長、流山市『総合計画策定』委員、流山市『行財政改革審議会』委員、日本都市センター『子育て家庭の孤立に対する都市自治体の対応に関する研究会』委員、内閣官房孤独・孤立対策担当室（株式会社サーベイリサーチセンター）『孤独・孤立の実態把握に関する研究会』座長、内閣官房孤独・孤立対策担当室『孤独・孤立対策の重点計画に関する有識者会議』委員などつとめる。

単著に『「友だち」から自由になる』（光文社新書、2022年）『「人それぞれ」がさみしい——「やさしく・冷たい」人間関係を考える』（筑摩書房、2022年）、『友人の社会史——1980～2010年代私たちにとって「親友」とはどのような存在だったのか』（晃洋書房、2021年）、『孤立不安社会——つながりの格差、承認の追求、ぼっちの恐怖』（勁草書房、2018年）、『つながりづくりの隘路——地域社会は再生するのか』（勁草書房、2015年）など多数。

〈記念講演〉

講師の紹介



徳田 靖之（とくだ やすゆき）
弁護士法人 徳田法律事務所 所長

- 現 職：弁護士法人 徳田法律事務所 所長
資 格：弁護士
職 歴：1967年 司法修習生
1969年 弁護士登録 現在に至る
- 社会活動：HIV薬害訴訟九州弁護団代表
ハンセン病訴訟西日本弁護団共同代表
ハンセン病市民学会共同代表
誰もが安心して暮らせる大分県をつくる会共同代表
JR無人化反対訴訟弁護団代表
- 著 書：エイズを生きる子ども達（かもがわ出版）
つくられたエイズパニック（桐書房）
ハンセン病絶対隔離政策と日本社会（六花出版）

シンポジストの紹介

◎後藤 みか（ごとう みか）氏



社会福祉士、介護支援専門員

津久見市教育委員会ほか県下でスクールソーシャルワーカーとして勤務。
大分県ひとり親と困難な生活環境にある子どもの支援計画策定委員、佐賀関
地区子育て支援ネットワーク代表、公益社団法人日本社会福祉士会子ども家
庭支援委員会委員。

◎吉田 瑞穂（よしだ みずほ）氏



社会福祉法人中津市社会福祉協議会 地域福祉課長・社会福祉士
大分県ボランティア・市民活動センター運営委員、大分県社会福祉協議会福
祉教育推進委員会副委員長、大分県介護予防・地域づくり推進部会委員。
現在、地域福祉課長。

◎山下 達夫（やました たつお）氏



社会福祉法人太陽の家 理事長

1歳の時に高熱が続きポリオとなり車椅子生活となる。1984年IT関連企業で
ある三菱商事太陽(株)に入社し、2014年代表取締役社長、2016年会長に就任。
2018年退任と同時に太陽の家理事長に就任。太陽の家が共生社会の先進モデ
ルとなり、「障がいのある人が取り残されることのない社会」を実現するこ
とを目標に掲げ、近年は、特に精神障がいのある人、発達障がいのある人の
雇用に力を入れている。

◎鶴成 悦久（つるなり よしひさ）氏



国立大学法人大分大学教授・博士（学術）

減災・復興デザイン教育研究センター長【CERD】

<研究紹介>

専門は土木工学における空間情報工学、海岸環境工学、災害情報学。

災害の備えから発災時の対応、復旧や復興、そして環境の変化など減災科学
を中心とした教育研究を行う。平成30年4月に中津市耶馬溪町金吉で発生し
た山地崩壊災害では、中津市からの災害派遣要請を受け、現地災害対策本部
での対策及び創作活動の助言にあたった。令和2年7月豪雨では、県内で被
災した国道の調査や自治体の災害対応の支援を行い、被災した日田市や由布
市において地域防災の向上に向けた取組や、復旧・復興への支援を行うな
ど、大分県内の防災・減災の専門家として取り組んでいる。

第31回 社会福祉士学会

本大会のテーマは、「現実社会と向き合うソーシャルワーク - 『たがいに・ささえあい・つながり』を目指して-」です。学会分科会「個人発表」「自主企画シンポジウム」「ポスター発表」については、以下「2. 分科会のねらい」に記載のテーマで発表者を募集しています。募集期間は下記の通りです。詳細は、日本社会福祉士会ニュース（2022年11月）同封の募集要項・要領または日本社会福祉士会ホームページ（以下のURL）をご覧ください。

都道府県社会福祉士会会員の皆さまによる社会福祉実践と理論の研究発表の場として、お互いに高め合える場としていきたいと思っております。ふるってご応募、ご参加ください。

●募集期間：2022年12月1日（木）～2023年3月23日（木）

●日本社会福祉士会ホームページURL

<https://onl.bz/T5cDedY>

●研修単位：

- ・学会での発表（「個人発表」「自主企画シンポジウム」「ポスター発表」すべて）
 - (1)生涯研修制度：生涯研修制度独自の研修・実績(③学会等での実践報告)の5単位となります。
 - (2)認定社会福祉士制度：更新要件に定める「定められた実績(口頭発表)」の1単位となります。

1. 学会開催のねらい

(1)コロナ禍は、私たちの「つながり」に対する意識を変え、多様なつながりのあり方を生み出した一方で、社会に内在していた孤独・孤立の問題は顕在化し、さらには深刻化しました。地域のつながりや人間関係の希薄化、そして孤独・孤立といった社会問題に対して今後われわれソーシャルワーカーは、互いに支えあい、人と人とのつながりが生まれる社会の構築の為にどのように向き合っていかなければならないのでしょうか。現実社会にある課題をしっかりと見つめ、それぞれが取組んできたソーシャルワーク実践を共有しあい、明日からの力強い実践につなげていく場としていきます。

(2)さまざまな実践現場における社会福祉士の活動に基づく発表と質疑応答、意見交換を踏まえて、社会福祉士が目指す方向性を明らかにし、専門性の向上を図ります。

2. 分科会のねらい

分科会には「個人発表」「自主企画シンポジウム」「ポスター発表」があります。また、開催県主催の特別分科会も開催されます。

<個人発表>

生涯研修制度の6領域（社会福祉士がとらえる「権利擁護」「生活構造」「相談援助」「地域支援」「福祉経営」「実践研究」）をテーマとした発表を通して、これからの社会福祉士実践についての議論を共有することを目的としています。

「権利擁護」分科会

人権には「自由権」と「社会権」の二つの視点が認められる。特に「社会権」の擁護はソーシャルワーク実践の中核をなしており、社会が協働してそれを実現する必要がある。そのために社会福祉士が担うべきことの探求や、権利擁護にかかるソーシャルアクションが求められている。そのことが社会的合意につながり、制度政策に結実するため、利用者本位の支援を実現するため市民参加による権利擁護システムが求められる。また社会福祉士が果たすべき役割・機能の近未来を見据えた実践について考える。

- 発表例**
- 権利擁護の取り組み実践と課題
 - 権利擁護にかかわる多職種連携やネットワーク
 - 成年後見制度・日常生活自立支援事業の課題と展望
 - DV・虐待事例など具体的ケースへの援助
 - オンブズマン、苦情対応等による権利擁護の実際
 - 権利擁護への住民参加の取り組み・推進事例

「生活構造」分科会

生活課題は、社会とのインターフェースで起こるとされている。世間の価値観に生活者は影響を受けやすい。生活者と生活環境の関わりを見据えながら、社会福祉士は、生活構造を的確に分析・把握できる能力が求められる。人と環境との相互作用として生活全体をとらえ、生活を動的に理解した上で、問題の背景や将来への見通しをも含めた支援を展開することが社会福祉士に求められている。「生活とは何か」「自立とは何か」「参加とは」を手がかりに、社会福祉士が果たすべき役割・機能の近未来を見据えた実践について考える。

- 発表例**
- 生活問題の重層化・長期化・多様化への取り組み
 - 利用者の多様なニーズに対応するケアマネジメント
 - 若者の雇用環境、低所得者、失業問題など新たな生活課題への取り組み
 - 親子で抱える負の連鎖、教育機会の不均等、中途退学など教育機会の確保
 - 滞日外国人等の生活問題への対応

「相談援助」分科会

社会福祉士には、専門職としての「価値」「知識」「技術」に基づいた相談援助が求められる。「生活の質」「自立」「自律」など、生活のさまざまな側面に着目していかねばならない。また社会福祉士の活動範囲も広範となっている。潜在的な福祉ニーズを抱える者へのアウトリーチや地域や組織への働きかけ、さまざまな職種との連携も相談援助活動に含まれる。多様な分野で活躍する社会福祉士の機能・役割の近未来を見据えた実践について考える。

- 発表例**
- 援助困難事例と家族療法
 - 問題解決過程で発生した専門職のジレンマ
 - 社会からの逃避と再参加にむけた支援法
 - 施設における利用者支援の実際と課題
 - クライアントを発見するアウトリーチの実際

「地域支援」分科会

社会福祉士には、サービスが総合的かつ適切に提供されるよう、地域に即した創意工夫が求められている。地域を基盤とした支援の展開が重要視される現在、人々が生活する地域のあり方が変化している。個人・家族を取り巻く環境としての地域に働きかけ、変革を促し、新たな地域のつながりをつくるために、社会福祉士に求められる機能・役割の近未来を見据えた実践について考える。

- 発表例**
- NPO法人によるあらたな福祉実践
 - 地域における生活困難者のサポート体制づくりと実践
 - 地域における多職種ネットワーク形成活動
 - 社会排除に関する実態把握とその支援
 - 社会資源の効果的活用と新たな資源創設活動
 - 独立型社会福祉士による実践

「福祉経営」分科会

今日、福祉ニーズの多様化と共に供給源の多元化が求められている。特に法の支配のもと公による「規制」と「助成」という従来の枠組みから、持続可能な社会保障制度確立のため、制度の根本的見直しも検討されつつある。自律的な福祉経営やイコルフिटティングの議論などが展開される一方で、福祉実践現場の実情は人材確保や質の向上、そして価値や倫理の問題などの課題が横たわっている。この状況下、社会福祉士は福祉経営を通じてサービス利用者と従事者、経営者の架け橋となる組織マネジメントを担い、ガバナンスやコンプライアンスをふまえたマネジメントが期待されている。

- 発表例**
- 各種法人の現状と課題
 - 各種法人における品質管理の手法
 - 人材育成・人事考課と職場管理の取り組み
 - 職場における業務改善・業務開発
 - 苦情対応やリスクマネジメントの現状と課題
 - 外国人労働者及び緊急雇用対策における失業者の介護労働市場への参入における課題
 - 公益法人のあり方と経営実践

「実践研究」分科会

社会福祉士としてより質の高い支援を提供するためには、自らの実践を振り返り、評価・検証し、研鑽を繰り返すことによって力量を向上していくことが不可欠である。また第三者に対して、援助の意義や効果を根拠と共に適切に説明できる能力も求められる。さまざまな課題に取り組む社会福祉士の実践を検討することによって、社会福祉士が実践すべき援助活動について考察する。

- 発表例**
- 社会福祉士の実践活動とその評価
 - 社会福祉士養成教育における実習指導の現状と課題
 - スーパービジョンや研修に関する実践報告
 - 災害ボランティア等における社会福祉士の取り組み

- 出所者支援における社会福祉士の取り組み
- 犯罪被害者支援における社会福祉士の取り組み
- 就労支援における社会福祉士の取り組み

＜自主企画シンポジウム＞

会員の自主的な企画によるシンポジウムです。社会福祉実践にかかわる内容であれば、テーマ・形式は問いません。養成機関と現場との連携、多職種ネットワーク、地域で検討されている課題、都道府県社会福祉士会での効果的な研修・研究の実践など、参加者と共に討議できる機会を大いに活用して下さい。

＜ポスター発表＞

都道府県社会福祉士会会員のみなさまによる日々の社会福祉士実践にかかる研究や報告をする場を広げるために、昨年度（東京大会）からポスター発表を実施しています。テーマは、「個人発表」と同様に生涯研修制度の6領域（社会福祉士がとらえる「権利擁護」「生活構造」「相談援助」「地域支援」「福祉経営」「実践研究」）をテーマとした発表になります。

＜大分特別分科会＞

「第二期成年後見制度利用促進基本計画」は、地域共生社会の実現に向けた権利擁護の推進を目的として策定されました。これからの専門職の役割は、従前の成年後見等に関わる専門職としての受任等を主眼に置いた「プレイヤーの役割」だけではなく、地域における市民を主体とした後見制度に限定されない権利擁護支援に関するシステムや、ネットワークの再構築のための地域デザインを「市民と協同し創りだす役割」も大きく期待されます。まさしくそれは、パラダイムチェンジであり、専門職の役割について大分の実践者でシンポジウムを行い、これから求められる役割について議論を深めます。

3. 全国大会プレ企画「実践研究入門講座」

実践研究能力を高め社会福祉士学会での発表や研究誌への投稿につながるよう、大会の開催に合わせて「事例研究ワークショップ」と「実践研究入門講座」を隔年で開催しています。本年度は「実践研究入門講座」を開催します。都道府県社会福祉士会会員が社会福祉士学会で日頃の実践をまとめて発表したり、研究誌『社会福祉士』に論文・実践報告として投稿する際の方法や考え方などを学びます。関心のある方は次ページを参照し、是非ご参加ください。

※プレ企画「実践研究入門講座」は、参集型（会場で受講）で実施します。オンデマンド配信は、ありません。

★分科会の個人発表者、自主企画シンポジウムのコーディネーター、シンポジスト、ポスター発表者、プレ企画参加者は、応募やプレ企画参加申込の他に、別途大分大会の参加申込が必要です。

★プレ企画・分科会の会場は、いずれも別府国際コンベンションセンター「ビーコンプラザ」です。

★分科会発表者と発表テーマは、5月下旬頃、日本社会福祉士会ホームページに掲載予定です。

第31回 日本社会福祉士全国大会・社会福祉士学会（大分大会） 全国大会プレ企画『実践研究入門講座』 開催要項

日本社会福祉士会・学会運営委員会では、社会福祉士が日々の実践を振り返り、より良いソーシャルワークを展開するとともに、会員の実践研究能力を高め、学会等での発表や研究誌への投稿につなげることを期待して全国大会の開催に合わせて「事例研究ワークショップ」と「実践研究入門講座」を隔年で開催してきました。

本年度は「実践研究入門講座」を開催します。都道府県社会福祉士会会員が社会福祉士学会で日頃の実践をまとめて発表したり、研究誌『社会福祉士』に論文・実践報告として投稿する際の方法や考え方などを学びます。発表や論文執筆がゴールでなくても、日々の実践に研究的な視点を持ちながらあたる姿勢は「最良の実践を行う責務」（倫理綱領）の具現化でもあります。関心のある方は、是非ご参加ください。

1. 日 時：2023年7月1日（土） 9：15～11：45
2. 会 場：別府国際コンベンションセンター <ビーコンプラザ>
〒874-0828 大分県別府市山の手町12-1

※参集型（会場で受講）で実施します。オンデマンド配信はありません。

3. プログラム：

時 間	内 容	講 師
9：00	受付開始	長岩 嘉文 氏 (日本福祉大学 社会福祉総合研修センター)
9：15	オリエンテーション	
11：45	終了	

4. 対 象 者：都道府県社会福祉士会会員の方のみご参加いただけます。（入会手続き中を含む）

5. 定 員：先着50名

6. 参 加 費：3,000円（資料代込）

7. 申込方法：

以下に掲載しているQRコードもしくはURLから申込フォームにアクセスし、必要事項を入力してください。

<申込フォームURL> <https://onl.bz/yHMHmQ7>



8. 申込締切：2023年5月24日（水）16：00

（※申込期限にかかわらず、定員に達し次第、締切とさせていただきます。）

※事前申込が必要です。当日の参加受付はいたしません。

※お預かりした個人情報本企画の運営以外には使用しません。

9. 研 修 単 位：本講座を修了することで、生涯研修独自の研修・実績（社会福祉士が行う研修で認定社会福祉士制度の認証を受けていない研修）の2.5時間となります。

10. 受 講 決 定：受講の可否については、6月上旬～中旬頃メールにてご連絡します。会場案内、参加費の納入方法およびキャンセル等の扱いについては、受講可否の連絡時にご連絡します。

11. 申し込み先：（公社）日本社会福祉士会 事務局 担当：桑島

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-13カタオカビル2階

T E L：03-3355-6541 E-mail：kuwajima@jacsw.or.jp

◆ 自然災害の発生による中止の判断について ◆

自然災害（悪天候及び地震が事由となるものに限る）の発生により、やむを得ず、本企画の開催を中止する場合があります。中止の判断基準は、本会・生涯研修センターホームページに掲載している「自然災害等発生時の研修運営の判断について」をご確認ください。また、開催中止を決定した場合には、本会ホームページ「全国大会／学会」にてお知らせします。

なお、上記事由により、主催者側が開催の中止を決定した場合、ご入金いただいた参加費は返金いたしません。

※返金の振込手数料は申込者負担となります。ご了承ください。

第31回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉学会大分大会 宿泊・お弁当・大会参加 申し込み要項

1. 参加申し込みの手続きについてのご案内

(1) 参加登録・分科会・抄録集・昼食・宿泊プラン・オプションツアーは事前申し込みが必要です。

下記内容をご確認の上、大会登録システム（WEB申込）よりお申込みください。

申込開始日：2023年3月10日10：00～ 申込締め切り・支払期日：2023年6月2日17：00まで

※定員に達し次第締め切りとさせていただきます。あらかじめご了承ください。

申込専用WEBサイト <http://www.mwt-mice.com/events/jacsw2023>

●大会参加

参加費 (税込)	日本社会福祉士会会員	一般参加者	学生
	10,000円	11,000円	5,000円

※日本精神保健福祉士協会・日本医療ソーシャルワーカー協会・日本ソーシャルワーカー協会の会員の方は日本社会福祉士会の会員に準じます。 ※ご入会手続き中の方は会員扱いとなります。

※大会事務局より委託を受け、名鉄観光サービス(株)大分支店が受付・集金業務を代行いたします。

※お支払い方法：銀行振込・クレジットカード・コンビニ振込にて対応可能です。

クレジットカード・コンビニ振込にてお支払いご希望の方は弊社へご連絡お願い致します。

●抄録集（大会参加費に含む）

抄録集 (税込)	参集でのご参加の方		事後配信のみでのご参加の方
	当日お渡し	事前郵送 (別途送料370円いただきます)	郵送 (別途送料370円いただきます)

※抄録集 送付の申込期限：2023年6月2日（金）17：00

●分科会 開催日：2023年7月2日（日） 会場：別府ビーコンプラザ

権利擁護	生活構造	相談援助	地域支援	ポスターセッション
福祉経営	実践研究	自主企画 シンポジウム	大分特別分科会	/

※参集に関しては、9時30分からの第一発表に限り、お申込みの分科会を優先いたします。

第2発表以降の会場間移動は自由です。

●昼食お弁当 設定日：2023年7月2日（日） ※大会2日目 弁当の取扱は旅行契約ではありません

お弁当 (税込)	幕ノ内弁当	大分名物とりめし弁当
	1,000円	1,000円

※どちらのお弁当もお茶付きになります。 ※とりめし弁当は数量限定になります。

※当日のご注文はお受けできません。事前のご注文をお願い致します。

●懇親会

現在、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、今大会での懇親会は中止とさせていただきます。

●手話通訳・介助が必要な方へ

手話通訳・介助が必要な方は、参加登録時にシステム上にて入力をお願い致します。

※当日の手話通訳は行いません。また、文字起こし用のソフトにて字幕でのご案内とします。

なお、後日のオンデマンド配信では編集の上、字幕にて配信いたします。

●プレ企画（実践研究入門講座）

プレ企画への参加をご希望の方は、大会申込とは別に申込が必要です。（P17プレ企画開催要項参照）

2. 宿泊のご案内 【募集型企画旅行契約となります】※ 最少催行人員 1名

(1) 宿泊設定日

2023年6月30日（金）・7月1日（土） / いずれか必要泊数

※但し、災害等特別な事由が生じた場合は、別途考慮します。

番号	ホテル名 (1番～9番別府市・10番～19番大分市)	部屋タイプ (食事条件)	旅行代金(税込)		別府駅・大分駅への アクセス
			6月30日(金)	7月1日(土)	
1	別府 亀の井ホテル	原則全施設1名1室 利用予定 一部のホテルは ツインのシングル 利用予定 (1泊朝食付)	¥12,500	¥15,500	徒歩にて5分
2	ホテルサンバリー アネックス		¥11,000	¥12,000	車で約10分
3	西鉄リゾートイン別府		¥12,000	¥13,000	徒歩にて10分
4	ホテルアーサー		¥11,000	¥12,500	徒歩にて1分
5	アパホテル 別府駅前		¥12,500	¥12,500	徒歩にて3分
6	ホテルAZ別府駅前		¥7,500	¥7,500	徒歩にて3分
7	グッドイン別府		¥7,500	¥7,500	車で約5分
8	ホテル&リゾート別府湾		¥16,000	¥18,000	車で約20分
9	グランヴィリオ別府湾		¥16,000	¥18,000	車で約20分
10	レンブラントホテル大分		¥11,000	¥12,000	徒歩にて約10分
11	ホテル日航大分オアシスタワー		¥13,500	¥16,000	徒歩にて約15分
12	JR九州ブラッサム大分		¥19,000	¥19,000	大分駅隣接
13	ダイワロイネットホテル大分		¥13,000	¥15,000	徒歩にて約10分
14	ホテルルートイン大分駅前		¥10,000	¥11,500	徒歩にて約3分
15	大分センチュリーホテル		¥10,000	¥10,000	徒歩にて約5分
16	アートホテル大分		¥10,000	¥11,500	徒歩にて約15分
17	大分リーガルホテル大分		¥11,500	¥11,500	徒歩にて約5分
18	グリーンリッチホテル大分都町		¥11,000	¥11,000	徒歩にて約15分
19	ホテルクドウ大分		¥9,500	¥9,500	徒歩にて約10分

※ 食事条件：1泊朝食付。ホテルにより夕食を付ける事も可能。別途ご相談ください。

※ 旅行代金には宿泊費、記載された食事代及び消費税等諸税を含みます。なお、飲料代、昼食代、交通費、駐車場代及び洗濯代（クリーニング代含む）等、個人的性質の諸費用は旅行代金に含まれておりません。

※ 禁煙ルームには限りがございます。空室状況により消臭対応となる場合がございます。

※ 今後のコロナウィルスの影響により、食事提供内容の変更の可能性がございます。

※ 申し込み状況により、記載以外のホテルをご案内させていただく場合がございます。

※ チェックインは15：00以降、チェックアウトは10：00以前を原則とします。

それ以前・以降の場合は追加料金がかかる場合があります。以前の場合は追加料金がかかる場合があります。

※ 朝食の欠食控除は出来ません。 ※ 大分駅から別府駅まで電車で約15分（普通電車利用の場合）

3. オプションツアーのご案内 【募集型企画旅行契約となります】 利用予定バス会社：大分交通・大分バス

(1) 実施期間 : 2023年 6月30日(金)・7月1日(土)・7月2日(日)・7月3日(月) 各コースにより

●日帰りふぐコース：設定日6月30日(金) 7月1日(土) 7月2日(日) おひとり様10,000円 最少催行人員1名～

大分市内	各自にて移動 各ホテル →→→→ 大分市内店舗(ふぐコース堪能) →→→→ 各自にて移動 18:30～予定
------	---

※旅行代金に含まれるもの：日程に明示された食事代・消費税等諸税

※旅行代金に含まれないもの：飲料代 ※ふぐコースには添乗員は同行致しません。各自にて店舗へ移動となります。

※日帰りふぐコースは大分市内の店舗のみになります。別府市内の店舗は設定ございません。

●国東半島コース：設定日7月3日(月) おひとり様18,000円 最少催行人員20名

利用予定バス会社：大分交通・大分バス

日帰り	大分駅 →→→→ 別府駅 →→→→ 宇佐神宮参拝 →→→→ 富貴寺(昼食含む) →→→→ 8:30発 9:00発 9:50/11:00 11:30/12:45
	熊野摩崖仏 →→→→ 両子寺 →→→→ 大分空港 →→→→ 別府駅 13:00/14:00 14:30/15:15 15:45頃 16:45頃

※旅行代金に含まれるもの：日程に明示された交通費・食事代・拝観料・消費税等諸税・ガイド代

国東半島コースには添乗員が同行致します。

※旅行代金に含まれないもの：昼食時の飲料代

●湯布院・別府コース：設定日7月3日(月) おひとり様17,000円 最少催行人員20名

利用予定バス会社：大分交通・大分バス

日帰り	大分駅 →→→→ 別府駅 →→→→ 湯布院市内各自観光(湯の坪街道・金鱗湖等) →→→→ 8:30発 9:00発 10:00/11:30
	別府市昼食(地獄蒸しの昼食) →→ 太陽の家ミュージアム →→ 大分空港 12:15/13:30 13:45/15:00 16:15頃

※旅行代金に含まれるもの：日程に明示された交通費・食事代・入館料・消費税等諸税・ガイド代

湯布院・別府コースには添乗員が同行致します。

※旅行代金に含まれないもの：昼食時の飲料代・各自観光中の入場料・飲食代

4. お申込後について

(1) 申込締切後、予約内容確認書に基づき、期限までに下記指定口座へお振込みください。

※お手数ですが、振込み手数料はお客様の負担となります。予めご了承ください。

(2) 振込口座

<ul style="list-style-type: none"> ・銀行名：三井住友銀行 東海支店 ・普通口座：2335874 ・口座名義：メイテツカンコウサービス(カ)
--

※振込期限：2023年6月2日(金)まで

※お電話での・変更・取消は間違いを防ぐためお受けできません。メールもしくはFAXにて送付お願い致します。

※WEB申込画面でのお申し込みが出来ない場合は名鉄観光サービス(株)大分支店までFAX申込用紙をご請求ください。

5. 個人情報の取り扱い

名鉄観光サービス株式会社は、お申込みの際にご提出いただいた個人情報について、お客様との機関等の連絡や輸送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及び受領のための手続きに利用させていただくほか、必要な範囲内で当該機関等及び手配代行者に提供いたします。

また、大会主催者事務局に提供致します。それ以外の目的で、ご提供いただく個人情報は利用致しません。

当社の個人情報の取扱に関する方針については、当社の店頭またはホームページにてご確認ください。

名鉄観光サービスホームページ (<http://www.mwt.co.jp>) ⇒ ご利用案内(TOPページ最下部) ⇒
⇒ 運営、約款、条件書等について ⇒ 『個人情報保護方針、個人情報保護の対応について』

※この書面は、旅行業法第12条の4に定める旅行取引条件説明書面及び同法第12条の5に定める契約書面の一部になります。

※詳しい旅行条件を説明した書面をお渡ししますので、事前にご確認の上、お申し込みください。

※ご旅行中の手続きは、お客様自身でお願いします。

6. ご旅行条件の要約

この旅行は、名鉄観光サービス(株) (以下「当社」といいます) が旅行企画・実施するものであり、旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約 (以下「旅行契約」といいます) を締結することになります。旅行契約の内容・条件は、パンフレット、別途お渡しする旅行条件書、出発前にお渡しする確定書面 (最終日程表) 及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

●申込の方法と契約の時期

- (1) 旅行のお申込みは所定の申込書にご記入の上、申込金を添えてお申し込みください。当社が契約の締結を承諾し、申込金・旅行代金を受理した時に契約が成立します。
電話、郵便、FAX、インターネット等により予約いただいた場合は、当社が予約を承諾する旨を通知した日の翌日から起算して3日以内に申込み手続をお願いします。
- (2) 申込金は、「お支払対象旅行代金」又は「取消料」、「違約料」の一部又は全部として取り扱います。
- (3) 団体・グループを構成する旅行者の代表としての契約責任者から旅行申込みがあった場合、契約の締結及び解除等に関する一切の代理権を契約者が有しているとみなします。

●申込金・旅行代金のお支払い

- (1) 旅行代金全額お支払いの場合は弊社が指定する期日までにお支払い下さい。
- (2) 申込金と残金を分けてお支払いの際、お一人様につき以下の申込金をお支払いいただきます。
30,000円未満 5,000円以上旅行代金まで
30,000円以上60,000円未満 10,000円以上旅行代金まで
60,000円以上 20,000円以上旅行代金まで
- (3) 残金は旅行開始日の前日からさかのぼって21日前にあたる日より前 (お申し込みが間際の場合は当社が指定する期日まで) にお支払いください。

●旅行代金に含まれるもの

- (1) 旅行日程に明示された宿泊費、食事代及び消費税等諸税。
- (2) 上記の諸費用は、お客様のご都合により一部利用されなくても原則として払い戻しはいたしません。

●取消料

- (1) お客様はいつでも次による取消料をお支払いいただくことにより旅行契約を解除することができます。

【宿泊・オプションツアーの部】 ※弊社営業時間内にお申し出ください。営業時間外のお申し出は翌営業日扱いとなります。

解除期日	取消料 (お一人様)
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目 (日帰り旅行にあっては10日目) にあたる日以降8日目に	旅行代金の20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって7日目にあたる日以降前々日にあたる日まで	旅行代金の30%
旅行開始日の前日	旅行代金の40%
旅行開始日当日	旅行代金の50%
無連絡不参加及び旅行開始後	旅行代金の100%

【お弁当の部】 ※弊社営業時間内にお申し出ください。営業時間外のお申し出は翌営業日扱いとなります。【旅行契約ではございません】

解除期日	取消料 (お一人様)
お弁当受取日の前日16時まで	無料
お弁当受取日の16時以降	お弁当代金の100%

●特別補償

お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故によって身体または手荷物の上に被った一定の損害について、あらかじめ定める額の補償金及び見舞金を支払います。

●旅程保証

当社は当パンフレットに記載した契約内容のうち、当社旅行業約款 (募集型企画旅行の部第29条別表左欄) に掲げる重要な変更が生じた場合は同条に定めるところによる変更補償金をお支払いいたします。

●基準日

この旅行条件は2022年11月1日を基準としています。また、旅行代金は2022年11月1日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しております。

7. 旅程管理業務を行う者の同行

※添乗員は同行致しません。

各会場にて当社係員が受付・変更・お弁当の受け渡し業務を行います。

8. お問い合わせ・お申込み先

名鉄観光サービス(株)大分支店

『第31回日本社会福祉士会全国大会 社会福祉士学会 大分大会』

観光庁長官登録旅行業第55号・(一社)日本旅行業協会正会員 旅行業公正取引協議会会員

〒870-0035 大分県大分市中央町1-1-5

TEL: 097-534-7607 FAX: 097-536-7390

営業時間: 9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日休業)

大分支店長: 中野 征彦

総合旅行業務取扱管理者: 山田 祐嗣

担当: 西村 浩之 / 鶴我 正康 / 中井 真司

E-mail: hiroyuki.nishimura@mwt.co.jp

名鉄観光ホームページ <http://www.mwt.co.jp>

※旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明の点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者にお尋ねください。



承認番号: S23-0104

①電話でのお申し込み・変更・取消は間違いを防ぐためお受けできません。

必ずWEB画面を通しての入力をお願いいたします。

②WEB申込画面でのお申し込みが出来ない場合は名鉄観光サービス(株)大分支店までFAX申込用紙をご請求ください

令和5年06月02日(金)17:00 申し込み締め切り

1 新規申込

<http://www.mwt-mice.com/events/jacsw2023> にアクセス

初めてお申込操作をされる場合は、「新規お申し込みはこちら」から入りユーザー、個人情報取り扱い条項に同意いただきました後に新規申し込み画面へお進みください。



2 各種情報登録・申込内容登録

6月2日 まで

各種情報をご登録いただき、宿泊・弁当のお申込み内容を入力ください。

ご要望等は備考欄にご入力ください。

名簿をダウンロードしていただき、記入後システム上にてアップロードお願い致します。



3 予約完了

予約内容入力後、確認画面にて申込内容をご確認の上、「申し込む」を押していただきます

と、ご登録いただいたメールアドレスに登録完了通知メールが自動配信されます。

変更・取消については、再ログインしていただき、編集ください。(締切期限前まで)

※ホームページの「お申し込み内容(PDF)」画面で申込内容の確認が可能です。



4 予約内容確認・代金振込

6月2日 まで

出力書類 お申し込み内容確認書(ホームページよりダウンロードをお願い致します。)

約款・説明文・マップ(トップページよりダウンロードをお願い致します。)

※出力いただいた書類は、大会当日必ずお持ちください。

お申し込み内容確認書の内容をご確認の上、ご旅行代金を指定口座へお振込みください。



5 領収証・返金

大会終了後

FAX送付先

097-536-7390

領収証が必要な場合はWEBトップ画面に添付の「領収証発行依頼書」をご記入

いただき、FAX又はメールにてご送付お願いいたします。大会終了後領収証を発送します。

ご入金後変更が発生した場合は、『ご返金先口座確認書』をFAX又はメールしてください。



公益社団法人
日本社会福祉士会

公益社団法人 **大分県社会福祉士会**

公益社団法人 大分県社会福祉士会

ホームページ

<https://oita-csw.or.jp/>



大会情報・
大会申込みページ

